

道徳の時間学習指導案

坂町立坂小学校

指導者 津島 敦子

1 日 時 平成 29 年 7 月 12 日 (水) 第 3 校時

2 学年・学級 第 2 学年 2 組 計 34 名

3 主題名 みんなが使う場所を大切に 内容項目 【C 規則の尊重】

4 ねらい 主人公のおばけのドロちゃんがかくれんぼできまりを守った時と守らなかった時のことを自他の立場から考えることを通して、みんなで使う場所でのきまりのよさに気づき、みんなが使う場所を大切にしようとする心情を養う。

5 教材名 『おばけ学校のきまり』【出典：「2 年生のどうとく」文溪堂】

6 主題設定の理由

○主題観

この内容項目は、C「主として集団や社会との関わりに関すること」の(12)「規則の尊重」に当たり、生活に必要な約束や法、きまりの意義を理解し、それらを守るとともに、自他の権利を大切にし、義務を果たそうとすることを目指している。

低学年のこの段階においては、まだ自己中心性が強く、ともすると周囲への配慮を欠いて自分勝手な行動をとることも少なくない。また、身の回りの公共物や公共の場所の使い方や過ごし方についてどうするのがよいのか、そしてそれはなぜなのかといった理解は十分とはいえない。

身近な約束やきまりを取り上げ、それらはみんなが気持ちよく安心して過ごすためにあることを理解し、みんなで使う場所の大切さにしようとする心情を育てたいと思い、本主題を設定した。

○児童観

本学級の児童は、小学校の生活にも慣れ、学校や運動場、特別教室など活動の範囲が広がっている。また、自分の教室の整頓や掃除にしっかりと取り組む姿が見られる。しかし、図書室で使った椅子をしまうことを忘れてしまったり、運動場で人がたくさんいる場所で、ボールを使い人にぶつかりそうになってしまったりする児童もいる。みんなが使う場所を使う大切さや、たくさんの人が過ごす場所での過ごし方について意識できていない実態がある。

○指導観

本教材は、主人公のおばけのドロちゃんが、かくれんぼで見つかりたくないために、学校のきまりを破って姿を消して逃げるが、そのために運動場で他の遊びをしていた学校の友だちが転んでけがをしてしまうという内容である。

指導に当たっては、導入において、身近な公共の場所について想起させ、学校や公園など、みんなが過ごす場所にあるきまりについて交流する。また、公共の場で困った経験を出し合い、みんなが使う場所を使う時に大切なことについて考えることを、本時のめあてとして確認する。

展開前半において、「おばけ学校のきまり」を読み聞かせる。かくれんぼで逃げ遅れてしまったドロちゃんの気持ちを問い、困ったり迷ったりする心情に寄り添わせる。次に、自分自身の問題として受け止めることができるように、自分がドロちゃんだったら、「姿を消す技を使ってはいけな

いうきまりを守るか・守らないかの二つの選択肢を提示する。選んだ選択肢と理由をワークシートに記入させる。他者の多様な考え方に触れさせるために、全体交流の場面において、板書上に2軸4象限の縦軸に、選択肢を設定し黒板を区切り、児童の意見を分類し整理する。次に、その行為に対し、運動場で遊んでいる他のみんなはどのように思っているのかについて、視点を変えて考えさせる。他者等の思いや気持ちを考えることができるように、役割演技を取り入れ、自分と他者との思いの双方に触れることができるようにする。板書上の座標軸に、運動場で遊んでいるみんなを他者として、視点を設定した横軸を加え、児童の考えを記入する。最後に2軸4象限の座標軸を基に、考えを比較・検討し、大勢の人が過ごす場所で過ごす際に、大切なこと、分かったことや気付いたことを問い、座標軸横に考えをまとめる。

展開後半において、今まで公共の場所において、みんなのことを考えて行動できたことを振り返らせる。これまでの自分を深く見つめ振り返らせるために自分と他者の思いを記入できるワークシートを用いて、これまでよりよく他者と関わったことに着目させ、振り返らせる。

終末において、これからの自分について振り返りを記入させ、思いや課題を培う。きまりとして決まっているから、誰かが言うから、誰かに怒られるから守るのではなく、たとえきまりが明文化されていなくても、みんなの安心や気持ちよさを考えて過ごしていこうとする心情を養いたい。みんなが過ごす場所や物を大切にしていこうとする公德心が児童一人一人の中に宿っていることを励ましなが、これからの生活に学んだことを生かしていこうとする気持ちを育みたい。

- 7 準備物 紙芝居 ドロちゃん（自分）と運動場のみんな（他者）の絵カード
黒板を区切るひも（両端を磁石で留める） ワークシート

8 指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	留意点及び支援の工夫
導入	1 学校や公園など、たくさんの人が過ごす場所について振り返る。	たくさんの人が使う場所には、どんなところがありますか。 ・ドッチボール ・学校 ・運動場 ・お店 ・公園 ・駅 たくさんの人が使う場所で、知っているきまりはありますか。 ・走らない。 ・きれいに使う。 ・順番を守る。 ・大きな声を出さない。 今まで、このような場所で、きまりを破る人がいて困ったことはありますか。 ・順番抜かしをされた。 ・うるさい人がいた。	○自分事として受け止めることができるように、これまでの自分の経験や思い出を想起させる。 ○きまりがあっても、守らない人もいる実情をおさえることを通し、よりよい関わりについての課題をもたせる。
展開前半	2 教材「おばけ学校のきまり」を読み、話し合う。	本時のめあて たくさんの人が使う場所で過ごす時に大切なことを考えよう。 かくれんぼで、逃げ遅れてしまったドロちゃんは、どんな気持ちだったでしょう。 ・早く逃げなくちゃ。 ・あの技を使ってしまおうかな。	

◎あなたがドロちゃんだったら、『姿を消す技を使ってはいけない』というきまりを守りますか。守りませんか。理由も考えましょ

守る

- ・ばれたら怒られる。
- ・みんなも守っている。
- ・みんながけがをしてしまう。
- ・見つかって、また隠れたらいい。
- ・きまりは大切。

守らない

- ・見つかって怒られない。
- ・ばれなかったらいい。
- ・みんななら許してくれる。
- ・上手にできないと恥ずかしい。

一緒に遊んでいる運動場のみんなは、ドロちゃんのことをどのように思うと思いますか。

守った時の他者の思い

- ・ありがとう。
- ・えらいね。
- ・また遊ぼうね。
- ・ほっとしたよ。

守らない時の他者の思い

- ・ひどい。
- ・みんなしていないのに。
- ・黙ってするのはどうかな。
- ・正しくない。

たくさんの人が集まる場所で過ごす時に、分かったことや気づいたことはありますか。

- ・ばれなかったらいいかなと思っても、頑張ってきまりを守る気持ち。
- ・みんなが良かったと思って過ごすことが大事だと思いました。
- ・席を譲るなど、優しくしてあげる気持ちが大事だと思いました。

今まで、たくさんの人が使う場所を、大事に使ったことはありますか。したことと、その時の気持ちを思い出してみましょ。

- ・①公園の滑り台の梯子をゆっくりと上りました。
- ②うれしかったよ。
- ③うれしいよ。
- ・①学校の廊下を走らないことを守りました。
- ②学校では、色々なきまりを全部頑張ります。
- ③みんな、きまりを守ってほしいです。
- ・①教室で気を付けている。
- ②教室を大事にしたら、気持ちがいいなあ。
- ③気持ちいいなあ。

○自分自身の問題として関わりで考えることができるように、選択肢を提示する。選択と理由をワークシートに記入させる。

○他者の多様な考え方に触れることができるように、板書において、守る・守らないの視点を設定した縦軸を基に1軸2象限にて、考えを板書に分類する。

○様々な考え方があることに気付くことができるように、座標軸上において、考えを類別し整理する。

○座標軸に、他者の視点を設定し横軸を加える。他者の思いや考え方を意識できるように、他者の立場に立った思いを考えさせる。

○他者の思いや考え方を意識することが難しい児童もいる場合は、役割演技を取り入れ実感を伴って理解できるようにする。

○思いや考え方が視覚化された板書の2軸4象限の座標軸を基に、似ている点、異なる点に着目させ、大勢の人が使う場所でのよりよい関わり方について、気付いたこと、分かったことを座標軸横にまとめていく。

○よりよく関われたことに着目させ、①自分のしたこと、②その時の自分の思い、③他者の思いをワークシートに記入させ、自分を振り返らせる。

○他者の思いが想像できない児童については、個別に声がけを行う。

終 末	3 これからの自分について思いや課題を培う。	これから、たくさんの人が使う場所で過ごす時は、どんな気持ちを大切にしていきたいですか。 ・悪い人になるより、自分で助けるなど、喧嘩しないで、優しくした方がいい気持ちを大事にする。 ・私は、どんな場所でもそのきまりを守っていきます。 ・みんなを大切に、みんなを助けたいです。 ・一緒に遊ぶ、安全に遊ぶ。 ・みなさんの気持ちを考えて大事にしていきたいです。	○深く自己を見つめることができるように、これからの自分についての思いや課題を振り返り欄に記入させる。 ○よりよくできる自分に着目させ、みんなと過ごす場所で、人や物を大切に過ごしていきたいと思う心に寄り添い、思いや願いを深めていくことができるようにする。
--------	------------------------	---	--

9 評価規準

	A	B	C
本時のねらい (授業の振り返り記述欄)	その場所を使うみんなのことを考えて、みんなが過ごす場所を大切にしようとする気持ちをもっている。 (記述例：みんなの安全や過ごしやすさについて述べている。)	きまりがあるから、人に言われるから、その場所を大切にしようとする気持ちをもっている。 (記述例：きまりだから、怒られるから大事にすると述べている。)	みんなで過ごす場所を大切にしようとする気持ちをもっていない。 (記述例：誰かがしてくれる、自分だけよければよいことを述べている。)

10 板書計画

まもる

みんな






ドロちゃん



まもらない

おばけ学校のきまり

たくさんの人がすごす
ばしよでたいせつなこと

大変
みつかってしま
早くかくなきや

あなたがドロちゃんなら『きえるわざをつかつてはいけない』
というきまりを、まもりますか。まもりませんか。

安全に
わらってすごす
こまらせないで
しらない人でも